

上下水道部

運営方針

上下水道事業の経営基盤強化と施設の長寿命化を推進

上下水道は、市民が健康で安全かつ快適な生活を送るうえで欠くことのできない都市基盤施設、ライフラインです。このため、地震や事故に強い上下水道システムの構築を図るとともに、持続可能で安定した上下水道事業の経営を目指し、経営の効率化及び健全化に取り組んでいます。

令和3年度は、平成30年度に策定した「上下水道ビジョン」の確実な推進と持続可能な上下水道事業経営の構築を図ります。上水道については、老朽施設の更新や耐震化事業を進めるとともに、広域化・共同化の検討を進めます。下水道については、未普及地域の解消や下水道管路の長寿命化を進めるとともに、水洗化率の向上と官民連携により、維持管理体制の充実を図ります。

【重点施策とめざす方向】

持続可能で安定した上下水道事業経営の構築

水道事業では、大阪広域水道企業団との統合や近隣市との広域的な連携について、さらなる検討を進めます。

下水道事業では、さらなる経営の健全化を進めるため、年度末の水洗化率96.4%を目指すとともに、官民連携手法により維持管理体制の充実を図ります。



【実績】

目標をやや下回った

水道事業では、大阪広域水道企業団にて水道事業統合促進基金の活用による最適配置案の策定等により、企業団との統合の検討を行いました。また、近隣市等と施設管理業務等における共同発注に係る検討を進めました。

下水道事業では、人口減少もあり、年度末の水洗化率が95.9%となりました。また、官民連携手法により次期、施設の包括的民間委託の契約を行いました。

安全で強靱な水道施設の構築

「水道施設整備計画」に基づき、中央監視施設更新工事実施設計や、日野浄水場電気設備の更新など、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進め、安全で安心した水道水の供給を図ります。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率27.1%を目指します。



目標をやや下回った

「水道施設整備計画」に基づき、中央監視施設更新工事実施設計や、日野浄水場電気設備の更新など、浄水・配水施設の計画的更新や耐震化を進めたが、コロナ感染症や管材不正認証の影響により一部計画より遅れた。

災害時における重要給水管路等の耐震化を進め、年度末の耐震管率26.8%となりました。

快適な生活環境を提供するための下水道の整備促進

生活排水のより一層の水洗化を図るため、公共下水道の未普及地域の下水道整備事業と、生活排水処理計画の変更により、新たに個別処理を推進することになった区域において、公共浄化槽等整備推進事業の取組みを進め、汚水処理率95.8%を目指します。

また、災害時における避難所の生活衛生の確保のため、マンホールトイレ3箇所の整備を行います。



目標をやや下回った

公共下水道整備事業をすすめ、年度末普及率は94.5%となりました。浄化槽処理促進区域における浄化槽整備の取組みも進めましたが整備済区域の人口減少もあり、年度末汚水処理整備率は94.9%となりました。

また、マンホールトイレ整備事業を進め、小山田小学校・川上小学校・美加の台中学校にマンホールトイレの整備を行いました。

安全で安心な下水道施設の構築

令和2年度に策定された「下水道ストックマネジメント計画」（第3期）に基づき、特に老朽化が進んでいる3団地の工事実施設計を行い、そのうちの約500mの更新を行います。また、滝畑浄化センターの計画的な設備の更新を行います。



目標どおり達成

下水道長寿命化対策事業（第3期）が始まり、年度末までに4,697mの工事実施設計とそのうち563mの管路更新を行いました。
また、滝畑浄化センターの設備の計画的な更新を行いました。